

# 航空機の成聖祈禱

君や、祝讃せよ。  
我等の神は恒に崇め讃めらる、今も何時も世世に。  
アミン。

## 常套の始め

我等の神や光栄は爾に帰す、光栄は爾に帰す。  
天の王慰むる者や、眞実の神、在らざる所なき者、満たざる所なき者や、  
の寶藏なる者、生命を賜うの主や、來たりて我等の中に居り、我等を諸の穢  
より潔くせよ、至善者や我等の靈を救い給え。  
聖なる神、聖なる勇毅聖なる常生の者や、我等を憐めよ。（三次）  
光栄は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。

至聖三者や我等を憐めよ、主や我等の罪を潔くせよ、主宰や我等の愆を赦  
せ、聖なる者や臨みて我等の病を癒し給え、悉く爾の名に因る。  
主憐めよ。（三次）

光栄は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。  
天に在す我等の父や、願わくは爾の名は聖とせられ、爾の国は來たり、爾の旨  
は天に行わるが如く地にも行われん、我が日用の糧を今日我等に與え給え、  
我等に債ある者を我等免すが如く、我等の債を免し給え、我等を誘に導か  
ず、猶我等を凶悪より救い給え。

蓋國と權能と光栄は爾父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に。  
アミン。

主憐めよ（三次）。

光栄は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。

來たれ、我等の王神に叩拝せん。  
來たれ、ハリストス我等の王神に叩拝俯伏せん。  
來たれ、ハリストス我等の王と神の前に叩拝俯伏せん。

# 第一百二十八聖詠

主よ、爾我を試みて我を識る。我が坐し、我が起つことは、爾之を識る。爾遠きより我の念慮を知る。我が往くにも、我が息うにも、爾我を環る、我が悉くの途は爾之を知れり。我が舌未だ言なきに、爾、主よ、已に全く之を識る。爾前後より我を圍み、爾の手を我に置く。爾の知識は我が為に奇異なり、高尚なり、我之を測る能わず。我安に往きて爾の神を避けん、爾に走りて爾の顔を逃れん、天に升らんか、爾彼處にあり、地獄に降らんか、彼處にも爾あり、われの翼を取りて、海の極に移らんか、彼處にも爾の手我を導き、爾の右の手我を援けん。或は云わん、闇冥は我を隠し、我を環る光は夜とならんと、然れども闇冥蓋爾我が臓腑を造り、我が母の腹の中に我を織れり。我爾を讚榮す、蓋我奇妙に造られたり。爾の作為は奇異なり、我が靈全く之を知る。我が奥密に造られ、腹の深處に形づくるる時、我が骨爾に隠れず。我が胚胎は、爾の目之を見たり、我が為に定められし日は、其一も未だあらざりし先に、皆爾の書に記さ

れたり。神よ、爾の念慮は我が為に何ぞ高き、其数は何ぞ多き。我之を計らんか、然されども其多きこと沙に過ぐ、我寤むる時、尚爾と偕にす。嗚呼神よ、願わくは爾惡者を擊たん、血を流す者よ、我に離れよ。彼等爾に向いて悪を言い、爾の敵は空しきことを謀る。主よ、我豈に爾を疾む者を疾まざらんや、我豈に爾に逆う者を厭わざらんや、我甚しき疾を以て彼等を疾み、彼等を以て我が敵となす。神よ、我を試みて、我が心を知り、我を試みて、我が念慮を知り給え、且觀よ、我危き途に在るにあらずや、乃我を永遠の途に向わしめ給え。

光栄は父と子と聖神に帰す、今も何時も世々に、アミン。

主憐めよ。

## 文

ヘルワイムに乗り、炎の車にてイリヤを天に引き上げ、爾の神使等を以てアワクム及び輔祭フイリップを空中に挙げ、爾の母の就寝に使徒等を集め賜いし主・神

や、爾自ら此航空機〔某〕を聖にし、此に乗りて旅行する者に福を降して、彼（等）  
を凡の凶惡より守り給え。蓋爾は獨全能なる者なり、我等光栄を爾父と子と聖  
神に獻ず、今も何時も世世に。  
アミン。

詠

此の航空機は、此の聖水の灌がるるを以て降福・成聖せらる、父及び子及び聖神  
の名に依りてなり。 (三次)

アミン。 (毎時応答する)

※(司祭は、機体の内外に聖水を灌いで曰く。)

輔

至聖なる生神女や、我等を救い給え。

司 詠 ヘルワイムより尊くセラフィムに並びなく栄え、貞操を破らずして神言を生みし、  
実の生神女たる爾を崇め讃む。

司 ハリストス神我等の侍や、光栄は爾に帰す、光栄は爾に帰す。

輔

睿智。

司

詠 光栄は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。主憐めよ (三次)。

福を降せ。

司 ハリストス我等の真の神は、その至淨なる母、克肖捧神なる吾が諸神父、亜使徒  
日本の大主教聖ニコライ、及び諸聖人の祈祷に因りて、我等を憐み救わん、彼は  
善にして人を愛する主なればなり。

詠

幾歳も (必要に応じて唱える。)

輔 主や、今新たに成聖せられし此の航空機の前に立ちて祈る爾の僕(婢)〔某〕に、萬福  
にして平安なる度生、壯健と救贖、及び萬事に於ける善き進歩を與えて、彼(等)  
を幾歳にも護り給え。  
幾歳も。 (三次)

※(司祭は、聖十字架に接吻させる時、彼(等)に聖水を灌ぎ祝福する。)